

まつやま 洪水ハザードマップ

石手川版

意識と準備が命を守る!

松山市

わが家の防災メモ

ハザードマップを使ってわが家の防災メモを完成させましょう！地図を確認して、該当するところにチェックを記入しましょう。

自宅の災害リスク	
浸水深	<input type="checkbox"/> 浸水無し <input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3.0m <input type="checkbox"/> 3.0~5.0m <input type="checkbox"/> 5.0~10.0m
家屋倒壊等氾濫想定区域	<input type="checkbox"/> 氾濫流の想定区域内 <input type="checkbox"/> 河岸浸食の想定区域内 <input type="checkbox"/> 想定区域外
浸水継続時間	<input type="checkbox"/> 12時間未満 <input type="checkbox"/> 12時間以上1日未満 <input type="checkbox"/> 1日以上3日未満 <input type="checkbox"/> 3日以上1週間未満
避難の方法	
避難の方法	<input type="checkbox"/> 屋内待機 <input type="checkbox"/> 垂直避難(階に避難) <input type="checkbox"/> 立ち退き避難
避難場所	
避難場所	自宅から避難場所までの時間

【メモ】避難時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。

非常持ち出し品チェックリスト	
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証・預金通帳 ※コピー可
水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携帯食・非常食 ※ビスケット・缶詰など
医療・衛生用品	<input type="checkbox"/> 服用している薬 <input type="checkbox"/> 救急医療品 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・口腔ケア用品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 液体せっけん <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 入れ歯 <input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクト
避難用品	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ホイッスル
道具類	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> ロープ
衣類	<input type="checkbox"/> 上着(防寒着)・下着・靴下 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコート)
生活用品	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ゴミ袋・ポリ袋 <input type="checkbox"/> レジャーシート

いざという時の連絡先

<input type="checkbox"/> 消防(火災・救急・救助)	(市外局番ナシ) 119
<input type="checkbox"/> 警察(事件・事故)	(市外局番ナシ) 110
<input type="checkbox"/> 松山市消防局	926-9200
<input type="checkbox"/> 松山市災害対策本部(設置時)	987-7000

火災・救急病院の問い合わせ(テレホンサービス)
火災 925-6622 救急病院 925-6633

松山市 総合政策課 防災・危機管理課
 〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2
 TEL.089-948-6793 FAX.089-934-1813
 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/

浸水の高さを確認

5.0~10.0mの浸水
 ●2階の屋根以上が浸水
 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある

3.0~5.0mの浸水
 ●2階の屋根まで浸水
 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊・流出する危険がある

0.5~3.0mの浸水
 ●2階の床下まで浸水
 ●1階部分が浸水
 ●強い水流の中を歩くことは危険

0.5m未満の浸水
 ●床下浸水 ●大人のひざ下程度
 ●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

「浸水ナビ」で詳しい浸水リスクを確認しましょう
 地点別浸水シミュレーション検索システム「浸水ナビ」で、どの河川が氾濫した場合に浸水するか、どの程度の浸水が予想されるか、どの程度の浸水が予想されるかなど、ポイントの詳細な浸水リスクが確認できます。自分が住んでいる地域に、どのような被害が想定されているのか、事前に確認し、適切な避難行動につなげましょう。

浸水の継続時間を確認

浸水継続時間マップ(石手川版)
 指定最大規模降雨の洪水により浸水深が0.5m以上となったから継続的に0.5m未満になるまでの時間を示したものです。

浸水継続時間
 ●12時間未満
 ●12時間以上1日未満
 ●1日以上3日未満
 ●3日以上1週間未満

いざというときの避難行動を確認

自宅が浸水する区域内にある。 → 屋内待機
 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)内にある。 → 立ち退き避難
 浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回る。 → 垂直避難
 浸水が長時間(3日以上)継続する区域内にある。 → 立ち退き避難

状況に応じた避難行動をしよう
 避難とは「難」を「避」けること
 1 マップで浸水の深さを事前に確認しましょう
 2 避難先を事前に決めておきましょう
 3 情報を基に避難の判断をしましょう
 4 早めに避難をしましょう
 5 避難場所は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

洪水から身を守る

洪水発生メカニズム

洪水は大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を越えるなどして起こります。

都市型水害について知る

大規模な洪水以外にも、都市部は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくい。川や水路、下水道に一気に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。

- 低地の冠水**: 低地や道路のアンダーパス*では冠水が起こり、車が立ち往生し浸没する危険があるため、通らないでください。
- 地下への冠水**: 水圧でドアが開くと、一気に水が流れ込む。外の様子が分からず逃げ遅れるなど、命に関わる危険があるため、早めの避難が必要です。
- 中小河川の増水氾濫**: 都市部の中小河川は、急に増水し、流れが激しくなり、氾濫するおそれがあります。逃げ遅れやすいので、大雨の時は近づかないでください。
- 過去の浸水**: 過去に浸水があった所は、大雨の時、再び浸水するおそれがあります。事前に確認し、避難する際はこのような所は避けてください。

防災気象情報の種類と内容を知る

災害発生危険性を5段階でお知らせします

警戒レベル	市民の皆さんがとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報
警戒レベル5	災害が発生、切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保(松山市が発令)※	氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル4	速やかに避難行動をとります。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や自宅内での安全な場所に避難します。	避難指示(松山市が発令)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3	ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など、避難に困難のかかる人とはその支援者は避難行動をとります。その他の人は、避難の準備を整えます。	高齢者等避難(松山市が発令)	氾濫警戒情報 大雨警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認します。	大雨注意報 など(気象庁が発令)	
警戒レベル1	災害への心構えを高めます。	早期注意情報(気象庁が発令)	

気象庁からの注意報・警報

大雨・洪水注意報 ▶ 大雨・洪水警報 ▶ 大雨特別警報

状況に応じた避難行動をとる

いつ避難するかを決める!

屋内待機、垂直避難、立ち退き避難

大雨・洪水時の避難のポイント

- ひざ上まで水につかると歩きにくくなります。水は浅くても、足元が濡れるのは危険です。歩ける水の深さは50cm程度が限界です。
- ロープにつなぐ。子どもなどは大人とロープで体をつなぎましょう。
- 足元に注意。水中の溝などに注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。道路はできるだけ真ん中を歩きましょう。
- 子どもやお年寄りを安全に。狭い道、がけや川のそばは避けましょう。車は使わず、歩いて避難。あらかじめ決めておいた、よく知っている避難コースを歩きましょう。
- 危険なところは避ける。狭い道、がけや川のそばは避けましょう。車は使わず、歩いて避難。あらかじめ決めておいた、よく知っている避難コースを歩きましょう。

避難情報などの伝達、入手方法

松山市では、様々な方法で避難情報などを発信しています。様々な情報の入手方法を知って、いざという時も役立つ。日ごろから確認して、自らの命が守られます。

1 防災行政無線

市内284カ所の屋上スピーカーから災害・気象情報をお知らせします。放送後4時間以内は、テレホンサービスで放送内容を確認できます。

2 広報車

市有車両や消防車両によるマイク放送をします。

3 テレビ・ラジオ

●避難情報や避難所開設情報は、テレビのデータ放送でも確認できます。
 ●手回式のラジオがあれば安心です。
 ●愛媛CATVでは、「お知らせチャンネル121」で、市からの情報を自動で繰り返し読み上げます。

4 メール配信

●まつやま防災メール(事前登録が必要)
 ●愛媛県防災メール(事前登録が必要)
 ●緊急速報メール・エリアメール
 ●松山市防災メール(事前登録が必要)
 ●松山市防災メール(事前登録が必要)

5 スマホアプリ

●Yahoo!防災速報 ●ひめシェルター
 ●松山市防災メール(事前登録が必要)
 ●松山市防災メール(事前登録が必要)

6 SNS・ホームページ

●松山市ホームページ
 ●松山市公式LINE
 ●松山市防災情報Facebook
 ●松山市防災情報Twitter

雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	ゴロゴロと降り続く	猛烈な雨が降る
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる	濡れている人の半数くらいが雨に気づく	傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	高速度走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキがきかなくなる	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、土砂災害警戒区域等では避難の準備が必要。都市部では下水道から雨水があふれる。	都市部では地下道や地下街に雨水が溜れ込む場合がある。マンホールから水があふれる。土砂災害が起きやすくなり、多くの災害が発生する。
車の運転	この程度でも、長く降り続くと注意が必要。	側溝や下水道、小さな川があふれ、小規模の軒先溢れが始まる。	ワイパーを速くしても見えない	高速度走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキがきかなくなる	車の運転は危険
災害発生状況					

危険水位について

石手川の水位(海抜上流550m)

氾濫危険水位 6.10m
 避難判断水位 5.50m

石手川ダムの放流について

放流開始の通知 — 警報について —
 ●サイレン局からの警報
 ●サイレンの鳴らし方
 ●電光表示装置

マイ・タイムラインをしましょう。

マイ・タイムラインとは、大雨や台風の時、自分がどこにいて、どのような危険にさらされているか、事前に確認し、適切な避難行動につなげようとするものです。

地下空間

●地下の様子が見えないため、逃げ遅れる危険があります。
 ●地下に冠水すると、一気に水が流れ込み、立ち往生するおそれがあります。

アンダーパス(地下道)

●鉄道や道路の下をくぐる場所は、道路が狭く、逃げ遅れる危険があります。
 ●地下に冠水すると、一気に水が流れ込み、立ち往生するおそれがあります。

車(運転中)

●水深30cmを超えると、多くの車はエンジンが停止します。浸水車の危険を認識し、安全な場所に避難しましょう。
 ●水深が浅くても、エンジンが停止すると、車が水中に沈む危険があります。

河原

●周りが急に暗くなり、雷が聞こえたりきたりしたら、急いで避難しましょう。
 ●自分がいる場所を確認して、上流で雨が降っているときも、急いで避難しましょう。

浸水キック(大雨警報(浸水)の危険度分布)

洪水キック(洪水警報の危険度分布)

川の水位情報

河川に設置されている水位計や危機管理型水位計で観測した最新の河川の水位情報が、パソコンやスマートフォンで確認できます。また、河川監視カメラの映像も確認できます。非常時の避難行動などに活用してください。

危険度分布の色が持つ意味と行動などの例

注意	警戒	危険	災害切迫
今後の情報や周囲の状況を確認し、避難の準備をしましょう。	安全な避難行動をとる準備をしましょう。	河川氾濫などの危険が迫っています。安全な場所へ避難しましょう。	重大な災害が発生している可能性があります。避難行動を急いでとりましょう。